

## 子どものあそび場は「まち」にあり！？

### 夢中に遊んだ…子どもの頃の思い出

久しぶりに、子どもたちが団地の中で遊んでいるのを見た。自分は団地育ちではなかったけれど、友達の住む団地で鬼ごっこをすることに、しばらく夢中だった。あの団地の坂や建物、木の配置は実に絶妙だったように思うのだ。

こんな風に、あの場所で、あの遊び…楽しかったな～という子どもの頃の記憶があるのは、僕だけではないはず。

### 子どもが遊びやすい環境って？

子どもの遊び環境の研究分野で有名な東京工業大学名誉教授仙田満先生は、著書『子どもとあそびー環境建築家の眼』(岩波新書)で、「子どもには遊びやすい環境がある」と言っている。子どもが遊ぶためには、環境が大きなポイントになるということだ。

だから僕らプレーワーカーは、プレーパークが子どもに「遊びやすい環境＝遊び心を刺激する環境」になるように、様々な遊び要素を取り入れようと工夫している。

しかし、公園でできる最大限のことをしているだけなのだ。公園以上に、子どもの遊び心を刺激する環境が、「まち」の中にはたくさんある。

車の通らないちょっとした路地、憩いの森のような林、高架下の何も無い空間、隠れ家的な家と家の間などなど。

### プレーパークから「まち」へ！

しかし今、「まち」で、子どもが遊ばなくなった。その理由の一つは、遊び心が刺激されるような環境があったとしても、遊び体験が乏しい子は何をしたら楽しいか発想できないからだ。遊ぶ力は体験の積み重ねで育つものなのだ。

ここに、プレーパークの存在意義がある。プレーパークには、普通の公園よりも多様な「遊びやすい環境」がある。そしてプレーワーカーがいる。だから、今まで遊ぶ体験が少ない子どもでも、遊びだすことができる。そうして遊ぶ経験を積んで、遊び力を育てていける。

遊び力を蓄えた子がそこかしこで自由自在に遊んでいる「まち」。そんな「まち」をプレーパークは目指している。

### 【発行】NPO 法人あそびっこネットワーク

NPO 法人あそびっこネットワークは、2003年、我が子たちの遊び環境の乏しさに不安を感じた小学生の親たちが、光が丘公園で「プレーパーク」を開催するためにできた団体です。2011年に練馬区「外遊びの場の提供事業」の補助金を受けて、現在は光が丘ひろっぴプレーパークの他に練馬区各所で「出張放課後プレーパーク」「おひさまびよびよ」を実施しています。

### 【お問い合わせ】あそびっこ事務局

住所：練馬区旭町 1-16-1

電話：03-3976-3113

(月～金 9:30～14:30)

Email: asobikkonet@gmail.com



あそびっこ HP  
asobikkonet.com



facebook  
fb.com/asobikkonet

## あそびっこの「やって！やって！」に、どうでる？

ある日の午後、ある女の子がバケツで水を運ぼうとしていた。その側を通ったとき、「ねえ、これ運んで！」と声をかけられた。

僕「え、俺が？なんで？」

女の子「大人でしょ。力あるんだから運んでよ！」

僕「いやー、それ重いんでしょ。運びたくないよ。」

女の子「大人げない！やってよ！」

というやりとり。さて、どうしたものか。

僕「これを運んで、何をやるの？」

女の子「落とし穴作ってるから、水入れたいの。」

僕「なるほど！それは面白そうじゃないか。」

女の子「じゃあ、手伝ってよ！」

僕「むむ、でも俺もあつちで基地作ってる場所なんだよ。」

女の子「えー、今歩いてただけじゃん。」

僕「いやー、白い布があつちに落ちてるからとりに行くところなんだな。」

女の子「じゃあ、私が布とってきたら、その間にバケツ運んでくれる？」

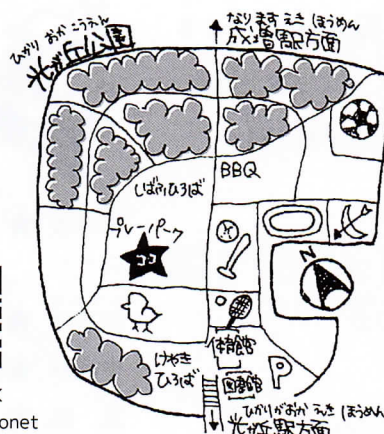
僕「おっ、それならいいよ！やろうぜー！」

その後この子には、何度か手伝いを頼まれた。でも、「〇〇がしたいから、△△を手伝って！」と、説明するようになった。また、「手伝ってくれたら、代わりに□□やるから」と、条件を出してきたり。さらに、彼女が提示した条件で僕が OK しない時は、「どうしたら手伝ってくれる？」と、こちらの意向を尋ねたり、自分のしたいことが、どんなに楽しいかを、アピールしたり。(アピールが上手く、一緒に遊びたくなって手伝ったことも(笑))

大人は子どもを手伝うもの、という常識がある気がする。僕だって大人だから、子どもが本当に困っているときは助ける。でも、大人である僕にもやりたいことや考えがある。それをすべて飲み込んで、子どもの要求を満たしてあげるのは違うように感じる。意思のある僕をその気になるにはどうしたらいいか？を考えてアプローチしてほしいと思う。

今回、この子のアプローチには、何度も落ちた。逆に僕のほうに引き込んだのも数回。こうして互いの遊びを出入りして楽しめたのは、互いのやりたいを尊重し合えたからなように思うのだ。

プレーパークは、身近な自然のなか、子どもたちの発想で自由に遊べる公園です。何を、どうやって遊ぶか？を、子ども自身が決められるよう、なるべく手や口を出さずに見守ってあげてくださいね。心配なこと、わからないことは、プレーワーカーにどうぞ声をかけてください。



## 開催日

毎週 土・日 曜日

午前 10 時から午後 5 時

11月		12月	
土	日	土	日
4日	5日	2日	3日
休み	12日	休み	10日
18日	19日	16日	17日
25日	26日	23日	24日

\*第2土曜日はお休みだよ  
詳しくはホームページを見てね！